

フィッティング手順

ワンデー アキュビュー® ディファイン® モイスト® のフィッティングは、問診の後、視力検査、屈折検査、前眼部検査などを行った後、以下の順序に従って行ってください。

1. 試用レンズの選択

2. フィッティング評価

3. レンズ度数の決定

4. 処方

5. 装用指導

6. 定期検査

1. 試用レンズの選択

自覚的屈折検査で得られた完全矯正屈折値をもとに、試用レンズの度数を決定します。-4.00Dを越える度数については、角膜頂点距離補正を行います。

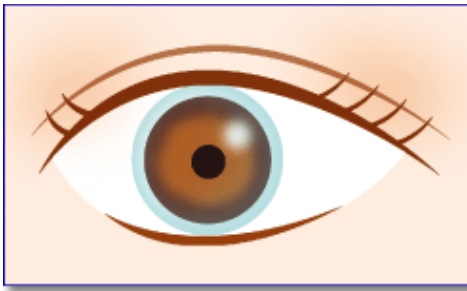
2. フィッティングの評価

コンタクトレンズ装用直後は、過剰に分泌された涙液のせいで正確なフィッティング評価ができません。涙液が安定してからフィッティング評価を行ってください。

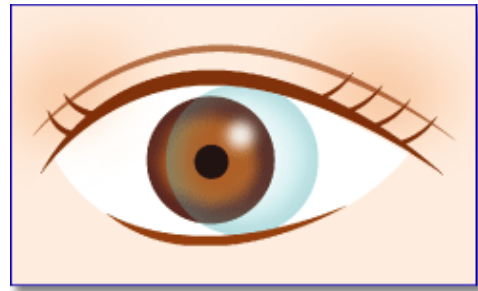
1) 角膜輪部がレンズによってカバーされているか観察する。

患者さんが正面視した時に、レンズが角膜全体をカバーして、角膜輪部が一部でも露出していないことを確認してください。

瞬目後に輪部が露出するものも不可です。



角膜輪部のカバレッジ良好

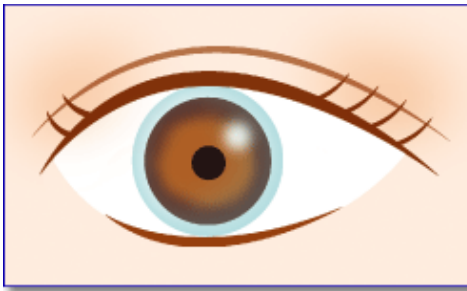


角膜輪部のカバレッジ不良

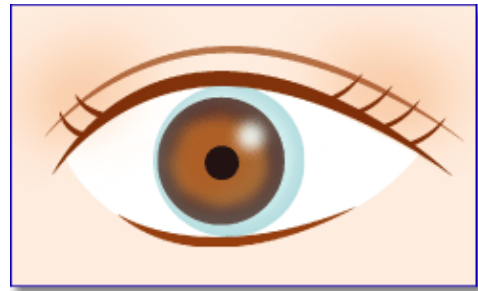
2) レンズのセンタリングを観察する。

レンズのずれがあれば、その方向と程度を記録してください。

その際、環状着色部分が瞳孔縁にかからないことを確認します。見え方や視野に影響を与えることもありますのでご注意ください。



センタリング良好



耳側にややずれあり

3) レンズの動きを観察する。

a) 正面視での動き

正面視時の、自然な瞬目後のレンズの動きを観察します。0.1mm~0.5mmの動きがあればよいでしょう。

b) 上方視での動き

正面視での動きが十分でなかった場合、または大きい場合（0.5mm以上）は、患者さんに上方視させ、自然な瞬目後にレンズが下にずれる様子（レンズのラグ）を観察します。通常、ここでの動きは正面視の時よりも多少大きくなります。しかし、レンズが角膜からずれて輪部が露出するようなものは、フィットがルーズすぎると判断できます。

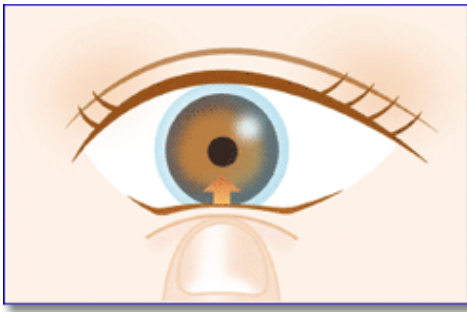
c) プッシュアップテスト

正面視、上方視での動きが十分でなかった場合、このテストを行います。まず、患者さんに正面視させ、指で下眼瞼の上からレンズを軽く押さえ、そのままレンズを上方に持ち上げ、指を離します。そのときにレンズが元の位置に戻る様子を観察します。次の基準で評価してください。

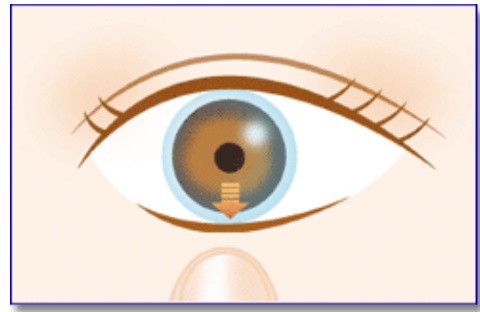
良 好	レンズがスムーズに元の位置に戻る。レンズを上を持ち上げる時の抵抗はない。
許容範囲内	レンズがゆっくり元の位置に戻る。
不 可	抵抗があるため、レンズをなかなか上にずらすことができない。

<プッシュアップテスト（ステップ1）>

<プッシュアップテスト（ステップ2）>



指で下眼瞼の上からレンズを押し上げる。



指を離してレンズが元の位置に戻る様子を
確認する。

※フィッティング不適の場合は処方しないでください。

3. レンズ度数の決定

追加矯正により、レンズ度数を決定してください。

4. 処方

これまでの検査に基づいてレンズを処方してください。

5. 装用指導

トライアルレンズのつけはずしについても、こちらをご参照ください。

1. レンズ取扱いの注意事項

- 爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- レンズに触れる前に必ず手や指を石けんで十分洗い、石けんが残らないようによくすすいでください。
- レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれたりしないようにしてください。

2. レンズの取り出し方

- (1) 右眼用レンズと左眼用レンズを間違えないよう確認します。
- (2) 容器のホイルで手指を切らないように注意して開封します。
 - 容器に破損等の不具合がないかを確認します。
 - 容器を切り離します。
 - ホイルをはがす前に容器を軽く振り、レンズが保存液の中に入っていることを確認します。
 - 容器とホイルをしっかり持ち、一旦ホイルを真上に引き上げるように少しはがしてから、保存液が飛び散らないようにゆっくり残りをはがします。

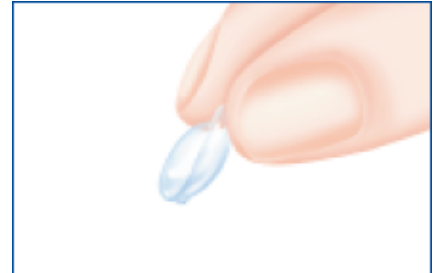
- 容器を切り離す際やホイルをはがす際に、容器のふちやホイルで手を切らないように注意してください。

(3) レンズが破損しないように、爪を立てず容器のカーブに沿うようにして人さし指の腹でそっと容器から取り出します。

3. レンズのつけ方

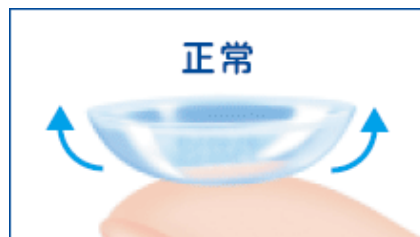
(1) レンズの水分を切る

レンズのふちを横からつまみ、上下に軽く振り水をよく切ります。レンズや指先が濡れすぎていると、指にレンズがはりついてしまい、装着が難しくなることがあります。

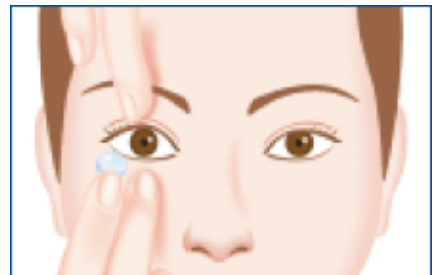


(2) 指にのせる

利き手の人さし指に、レンズをそっとのせます。このとき、レンズの表裏の確認を必ず行います。

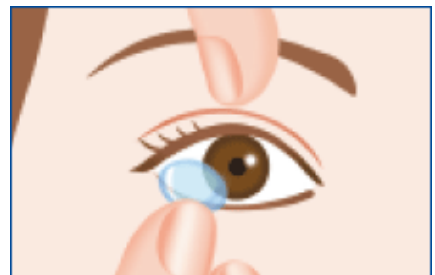


(3) 鏡を見ながら、レンズをのせた手の中指で下まぶたを下に引っ張り、もう一方の手の人さし指で上まぶたを引き上げ、目を大きくあけます。

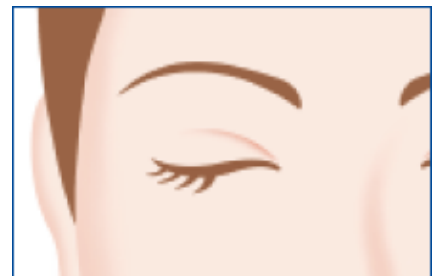


(4) 指にのせる

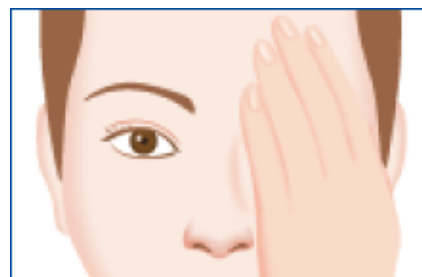
レンズをゆっくりと眼に近づけ、角膜の上にそっとのせます。



(5) 眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりします。



(6) もう一方の眼を手でかくし、レンズが正しく装用されていることを確認します。

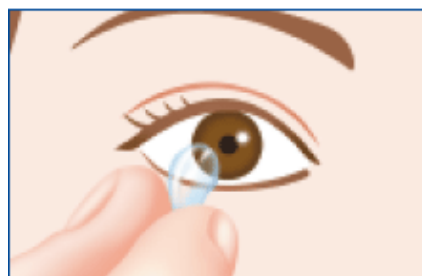
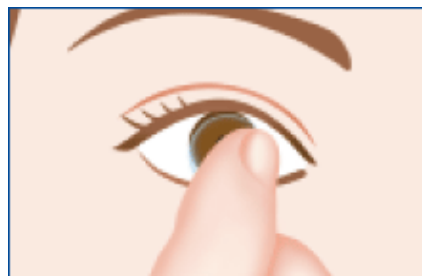


4. レンズのはずし方

(1) 中指で下まぶたを引き上げます。

(2) そのままの状態では親指と人さし指でレンズの下方をつまみはずします。

- 爪を立てないように気をつけます。
- レンズを無理にはずすと角膜を傷つけることがありますので注意してください。
- レンズが動きにくいときは、数回ゆっくり大きくまばたきをするか、眼科医の指示に従いソフトコンタクトレンズ用の点眼薬を使用してレンズに十分に水分を含ませてから、再度行ないます。



6. 定期検査

ワンデー アキュビュー® ディファイン® モイスト® をより快適に安全に装用していただくには、定期検査が必要です。一般的な検査スケジュールとして、装用開始から3ヵ月以内は1週間目、1ヵ月目、3ヵ月目に、それ以降は3ヵ月毎または眼科医の指示に従って定期検査を必ず受けるように指導してください。

特に異常を感じなくても、定期検査は必ず受けるよう指導してください。

1. 問診

装用方法や装用時間など、患者さんのコンプライアンスをチェックし、眼の自覚症状や問題の有無をたずねます。

2. 視力検査

レンズを装用した状態で矯正視力を測定します。

必要に応じ、追加矯正を行ったり、レンズをはずして他覚的屈折検査を行ってください。

3. 前眼部検査

前眼部に異常または変化がないかどうかを確認するために、スリットランプ検査を行います。

また、必要に応じ、角膜曲率半径測定（または角膜形状解析）、涙液検査なども行ってください。

※フルオレセインはレンズ装用中に使用しないでください。レンズ装着前にフルオレセインを使用した場合は、生理食塩水等でフルオレセインを洗い流してください。

4. フィッティング検査

レンズのセントリングと正面視及び上方視の動きをチェックします。
動きが少ないときは、プッシュアップ テストによる動きや抵抗を確認します。

5. レンズ検査

レンズに異常（キズ、異物や汚れの付着、破損等）がないかを検査します。

6. 診療方針の決定

- 問診及び検査所見により、レンズ装用の可否を判断します。
装用可能な場合は、必要に応じ、レンズ取り扱いや装用時間の短縮等の指導をしてください。
- 装用開始後、疾病、妊娠、出産、薬剤や点眼薬の使用による患者の体調や眼の変化、あるいは生活環境の変化によりレンズの装用が不適になる場合があります。
- 必要に応じ、同規格または変更した規格のレンズの処方をし、次の定期検査日を指示します。

患者さんへの指導

ワンデー アキュビュー® ディファイン® モイスト® に添付されている最新の添付文書を必ずご参照ください。

コンタクトレンズを処方する際は、患者さんに次のことを指導してください。

【警告】

1. コンタクトレンズ（以下、レンズ）の装用により、角膜潰瘍、角膜炎（感染性角膜炎を含む）、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎（巨大乳頭結膜炎を含む）、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2. 上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。

(1) 装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。

(2) 使用期間を正しく守ること

製品により使用できる期間が異なります。眼科医の指示に従い、使用期間を超えず、新しいレンズと必ず交換してください。

(3) 取扱い方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品（特にレンズケース）は清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。

(4) 定期検査を受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常を感じなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5) 異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズ装用前に目ヤニや充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認してください。異常を感じたらレンズを装用せず眼科を受診してください。

(6) レンズや包装容器に不具合がある場合は絶対に使用しないこと

装用前に、レンズや包装容器に破損等の不具合がないか必ず確認してください。異常がある場合は絶対に使用しないでください。

使用上の注意

1. 重要な基本的注意

- (1) レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。
- (2) アレルギー疾患（金属アレルギー等素材に対するアレルギーを含む）を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。
- (3) レンズの使用と紫外線に起因する眼障害リスク低減の関係については、臨床試験において確認されております。
レンズは紫外線吸収サングラスなどの代わりにはなりません。

2. 不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

(1) 不具合

レンズ：破れ、キズ、変形、変色、異物付着、レンズが2枚以上重なっている

保存液及び容器：液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ

●レンズを使用する際、次のことに注意してください。

- ・開封前にレンズの包装容器に異常がないか、レンズ装用前にレンズに破損や異物付着等の不具合がないかを確認する。
- ・異常が認められたレンズは絶対に使用しない。
- ・万一、破損などの不具合があるレンズを装用したり、装用中にレンズが破損した場合は、自覚症状の有無にかかわらず、速やかに眼科を受診する。

(2) 有害事象

角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイニング等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

<装用中の症状と対処方法>

- 眼の調子や体調が悪い場合は、無理にレンズを装用しないでください。
- レンズの装用中、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試しく下さい。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。

症状	患者による対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、目ヤニが多く出る、充血、視力不安定、見えにくい、眼の疲れ	<ul style="list-style-type: none">●レンズをはずし、レンズの左右、表裏の入れ間違い、汚れの有無、キズや破損を確認する。<ul style="list-style-type: none">・1日交換レンズは、一度眼からはずしたレンズは再使用せず、新しいレンズと交換する。
乾燥感	<ul style="list-style-type: none">●数回まばたきをして涙を多く出す。

3. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- (1) 妊娠・出産がレンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2) 小児の方は、保護者等による指導監督のもとに装用してください。
- (3) ご自身でのレンズのつけはずしやレンズケアなどが困難な場合は、ご本人だけではなくご家族等も安全装用に必要な指導を受けてください。

4. その他の注意

- (1) レンズ紛失時等に備えて予備レンズ又は眼鏡を携帯してください。
- (2) レンズ装用が困難・不可能な場合に備えて眼鏡を携帯してください。
- (3) 防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液は一般的にレンズ装用中に使用できます。それ以外の点眼薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
- (4) 抗ヒスタミン薬・利尿薬・筋弛緩薬・精神安定薬・乗り物酔い用薬等は、目の乾燥感や異物感を増したり、霧視を起こす原因になることがありますので、眼科医に相談してください。
- (5) 化粧品はレンズをつけてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- (6) 化粧品等がレンズにつかないように、レンズを取り扱う前に手を石けんでよく洗ってください。
- (7) 水泳や入浴の際はレンズをはずしてください。
- (8) 海外に長期滞在する場合は、現地の医療機関で定期検査を受けてください。
- (9) 運転や機械類の操作は、レンズ装用に慣れるまでは行わないでください。明るさによって見え方が変化することがあります。夜間の運転など注意が必要な場合もありますので眼科医に相談してください。
- (10) レンズ装用中は眼をこすらないでください。眼をこすると角膜を傷つけたり、レンズを破損することがあります。
- (11) レンズ装用中に洗剤や化学薬品等が眼に入った場合は、直ちにレンズをはずして水道水で眼を十分に洗ってから、レンズは装用せずに眼科医の診察を受けてください。
- (12) 水道水等は、微生物が含まれている可能性があり感染症等の眼障害を引き起こす危険性がありますので、レンズのケアには使用しないでください。

ディファイン[®] レンズ装用の場合、以下の点も合わせて注意してください。

- (1) レンズの着色部分によって瞳孔縁から入ってくる光の量が減少すると、見えにくく感じたり、視野周辺部に違和感を生じることがあります。これらはレンズ装用に慣れるに従い軽減されますが、長引く場合は眼科医に相談してください。
- (2) 明るい場所では問題が無くてもレンズ装用ができて、暗い場所では瞳孔が散大しますのでレンズの着色部分が瞳孔縁にかかり見えにくくなる可能性があります。暗い場所での車の運転や機械の操作は特に注意してください。
- (3) 激しいスポーツ等で、レンズがずれて視界を妨げることがあります。

使用方法等

レンズ使用期間

ワンデー アクュビュー® ディファイン® モイスト® は終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にはずしてください。

1日ごとに新しいレンズに交換し、一度はずしたレンズは必ず捨ててください。

装用スケジュール

レンズの装用に慣れるまでの期間には個人差がありますので、初めてレンズを装用する患者さんに対しては、以下のスケジュールを参考にして指導してください。

[スケジュール例]

1日目	6時間
2日目	8時間
3~6日目	12時間以内
7日目以降	終日装用(標準的な装用時間12~14時間)

- 必要に応じて眼科医が適切と判断する期間、テスト装用させてください。
- 7日目以降の装用においては、眼科医が個々の患者さんに対して適切な装用時間を指示し、それを守るように指導してください。
- 眼科医に指示された装用時間内で使用し、眠るときは必ずはずすよう指導してください。
- 装用を中止し再開する場合には、眼科医の指示に従うよう指導してください。

保管方法及び使用期限

1. 保管方法

室温で保管してください。

2. 使用期限

レンズの使用期限 (🕒) は、箱 (二次包装) 側面とホイル (一次包装) 上の面に記載されています。使用期限を過ぎたレンズは使用しないでください。

<記載例>

- ・「20XX/03」の場合、使用期限は20XX年3月まで。
- ・「20XX-03-01」の場合、使用期限は20XX年3月1日まで。

